

さようから証人尋問始まる

当時の工場長呼ぶ

ネコ400号問題が焦点に

同裁判の第九回口頭弁論は四日午前十時から二日間開かれる。一日目は原告の患者側弁護団が尋問にあたり午後四時まで西田元工場長一人にしばって当時の工場管理と排水処理状況についてたずねた。昨年七月四日の元チツソ水俣工場の付属病院院長細川一氏（故人）の臨床尋問の結果、三十二年から三十七年にかけて会社がネコによる実験を行ない、三十四年十月ネコ四百号が水俣病症状を発症したことが明らかになっている。原告は、この間細川氏が排水の危険を工場幹部に伝えたが、会社側は実験を中止させ、排水採取もやめさせたという「細川証言」に関連して当時の実情をたずねるものとみられる。同日午後からは被告の行なわれ、同日午後からは被告の会社側が反対尋問を行なう。